

■中国：南方電網、広東省で街路灯一体型・EV充電設備の整備事業を開始

南方電網有限責任公司は2019年3月11日、広東省の広州市において、街路灯一体型・電気自動車（EV）充電設備の整備事業を開始したと発表した。同設備は、街路灯や充電設備のほか、Wi-Fi、スマートパーキング、監視カメラ、緊急通報ボタン、ごみ箱など10種類以上の機能を兼ね揃えており、中型EVの場合、約10分間の充電で100km走行することが可能である。同社は、この設備を市内に合計20カ所に設置する予定である。同社は将来、次世代通信技術「5G」やIoT技術などを活用したEV関連の総合的なシステムを開発する構想を持っている。